

第59回

日本風俗史学会大会・総会

テーマ「琉球藍と織物の歴史と未来」



交通アクセス

平成30年(2018) 期日 12月1日(土)・2日(日)・3日(月)

会場 琉球大学 教育学部棟1階101教室 (〒901-2424 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)

資料代 500円 (2日間共通・当日会場受付にて) 聴講歓迎

[第1日] 12月1日(土) 受付 13:30

開会あいさつ 14:00

特別公開講演 14:15~16:20

沖縄における近代琉球藍の製造と社会背景について

大湾ゆかり氏(沖縄県立博物館)

琉球藍と中国の藍染めの比較文化論

—中国の藍印花布保存活動 久保マサを中心に—

佐野 敏行氏(奈良女子大学)

総会 16:30~17:30

懇親会 17:45~19:15

学内食堂 村吉茜氏による琉球民謡演奏会 参加費 3,500円

[第2日] 12月2日(日) 受付 9:30

自由論題研究発表 10:00~12:00

語り部による歴史の継承

鈴木 章生氏(目白大学)

東“米良山の神楽”の祭の個性と後継者育成の仕組み

—尾八重神楽と銀鏡神楽を中心に—

佐々木昌代氏(名古屋女子大学短期大学部)

近世社会における「赤気」と公家

岩橋 清美氏(国文学研究資料館)

組踊研究の現状と可能性

鈴木 耕太氏(沖縄県立芸術大学)

(昼食休憩) 琉球大学博物館(風樹館)見学

シンポジウム 14:00~16:00

「琉球藍と織物の歴史と未来」

沖縄の染め織りの現状とこれから

松本 由香氏(琉球大学)

丸正織物工房と琉球かすり

大城 幸司氏(丸正織物)

沖縄の染め織りの歴史と暮らしとのつながり

佐野 敏行氏(奈良女子大学)

ディスカッション

司会 中井 明美氏(元九州女子大学)

閉会あいさつ 16:00

[第3日] 12月3日(月)

見学会 8:30~12:00

「琉球絣の里を訪ねる」

琉球大学8:30→琉球絣会館見学→大城廣四郎工房見学→丸正織物見学→南風原町の絣ロード散策→11:00→那覇空港12:00着解散予定

*会員でない一般・学生の方は、総会を除くすべてのプログラムに参加できます。*資料代500円および懇親会費3,500円は、当日会場にて受け付けます。事前振込みは不要です。*2日目の昼食は各自ご持参ください。

主催 第59回日本風俗史学会大会実行委員会・日本風俗史学会九州支部
後援 琉球大学・琉球大学後援財団(教育研究奨励事業)
協力 丸正織物・村吉 茜
協賛 (株)アム・プロモーション『ミュゼ』編集部、CIA

日本風俗史学会 事務局
〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1 目白大学社会学部 有元修一研究室気付
http://www.fuzokushi.jp E-mail:jimu@fuzokushi.jp

